2026 年　11 月　4 日

岐阜大学医学部へ献体された方のご遺族の皆様へ

「　Thiel 法固定ご遺体を用いた単回使用卵管鏡システムの実用性検証と卵管内腔の観察能に関する研究　」への協力のお願い

岐阜大学医学部附属病院産婦人科および岐阜大学医学部解剖学教室では、医学の発展を目的として献体されたご遺体を用い、下記の研究を共同で実施します。本研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究の対象：2025 年 1 月 1 日～2026 年 10 月 31 日の間に、岐阜大学医学部に献体されたご遺体を対象とします。

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2030 年 3 月 31 日

研究目的・利用方法：

本研究は、患者さんへの使用に先立ち、単回使用（使い捨て）の子宮鏡・卵管鏡の挿入のしやすさ、操作性、卵管内部の見え方を確認することを目的とします。防腐・固定処理（Thiel 法）を行ったご遺体の子宮・卵管を観察し、画像・動画や操作の評価結果を記録します。得られた結果をもとに、実臨床での使用上の課題や留意点を明らかにし、今後の適切な使用方法の検討と将来の診療への導入に役立てます。

研究に用いる試料・情報の項目：

【試料】

岐阜大学医学部に献体され、防腐・固定処理（Thiel 法）を行ったご遺体の子宮および卵管。

【情報】

本研究では、以下の情報を記録・利用します。

1. 子宮内および卵管内部の観察結果（卵管内部の形態、卵管壁の走行など）と、卵管内部の画像・動画
2. 左右の卵管口（子宮から卵管への入口）を確認できたかどうか
3. 卵管口および卵管内部へ卵管鏡を挿入できたかどうかと、その挿入過程
4. 卵管内部を観察できたかどうか、観察できた範囲および卵管鏡が到達した部位
5. 卵管内部の画像・動画の見やすさと、内部の構造を確認できる画質が得られたかどうか
6. 卵管口の確認から卵管内部への到達までに要した時間
7. 子宮鏡および卵管鏡の操作性、追従性（卵管の曲がりに沿って機器を進められるか）、視認性および実用性について、3 名の医師が行う評価と自由記載アンケートの内容
8. 観察中に認められた操作上または機器上の問題点

また、施設の規定に従い、必要な承認を得て腹腔内からの観察を行った場合には、子宮・卵管の観察結果、卵管鏡の挿入に伴う卵管の形態変化、卵管鏡が通過する経路および先端の到達

位置を記録します。必要に応じて画像・動画も記録し、内視鏡の画像から推定した到達部位と、実際の解剖学的位置との対応関係を確認します。
取得した情報は、氏名など個人を直接特定できる情報を取り除き、研究用の番号を付して管理します。研究成果を学会や論文で公表する際も、個人が特定されないよう配慮します。

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：
2026 年 11 月 6 日

研究への利用を希望されない場合

本研究では、献体されたご遺体を研究に使用させていただきます。献体者ご本人は、生前の献体登録の際に医学研究への利用について同意されていますが、本研究への利用を希望されない場合には、ご遺族からお申し出いただくことができます。その場合には、本研究の対象とはいたしません。
本研究の内容についてご質問がある場合、または研究への利用を希望されない場合には、下記の連絡先までお申し出ください。研究への利用をお断りになったことによって、ご遺族に不利益が生じることはありません。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

本研究は、日本医療研究開発機構（AMED）医工連携グローバル展開事業の研究費を用いて実施します。また、本研究で使用する単回使用子宮卵管鏡システムおよび関連資材については、研究開発代表機関であるインフューズライフサイエンス株式会社から無償貸与または提供を受けます。これらの利益相反については、岐阜大学の規程に従って適切に管理します。研究から生じる知的財産権は研究者および関係機関等に帰属し、献体者またはご遺族には帰属しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院　産婦人科
氏名：磯部　真倫

連絡先

岐阜大学医学部附属病院　産婦人科
電話番号：058-230-6345
氏名：鈴木　幸雄

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部　研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸１番１
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp